

四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第 80 号（令和 7 年 3 月発行）

令和 6 年は、12 月に第 4 回定例会が開催され、一般質問で各議員が下記のとおり管理組合執行部の見解を質しました。

主な質問・答弁要旨

谷川孝栄議員



主な質問項目
・親しまれるみなとづくりと
将来の人材確保について

●安定的な港湾物流の確保のため港湾における将来の人材確保は重要であるが、港湾における労働力不足の解消につながる、親しまれるみなとづくりの取組について聞きたい。

○ポートビル 14 階展望展示室「うみてらす 14」は、四日市港の歴史や機能、果たしている役割、地域との関わりなどについて学べるため、将来的な港湾物流の担い手確保に資する重要な施設と考えている。三重県内及び近隣の滋賀・岐阜県等の小学校から例年延べ 100 校以上の社会見学を受け入れ、利用した学校の満足度は非常に高く、四日市港を学ぶ場として定着している。一方、開館から 25 年以上経過し展示物等の老朽化も進んでいるため、現在リニューアルに向け検討を進めている。従来の学習機能はもとより、将来、四日市港において、港湾物流の担い手となる可能性がある子どもたちに、四日市港が果たしている役割や港に関わる様々な仕事を知ってもらい、興味を持ってもらう視点を一層重視する方向性で検討することとし、学校関係者や港湾関係企業等からのニーズやご意見を踏まえ、来年度にリニューアルの構想をまとめたいと考えている。

今後も、親しまれるみなとづくりを通じて、港に関わる仕事の魅力を感じてもらい、将来的に港湾物流の担い手確保の一助となるよう取り組んでいく。

●情報発信も含めてさらに力を入れてほしい。議員も一緒に協力していくこともできるのではないと思う。将来の人材確保のためにも、まず子どもたちの心に響かないといけない。親しまれるみなとづくりが憧れる職場とつながることを願う。

樋口龍馬議員



主な質問項目
・地元企業の育成を考える
く入札における地元割合く

●四日市港管理組合の発注する工事、物品及び役務の調達にかかる地元企業の割合について、現状（調達状況）を聞きたい。

○令和 5 年度に管理組合が発注した、建設工事及び測量・調査・設計業務の入札案件は 60 件で、このうち四日市市・三重郡に本支店を有する業者が落札したものが 37 件、それ以外の三重県内に本支店を有する業者が落札したものが 20 件、三重県外の業者が 3 件。割合にすると、四日市市・三重郡に本支店を有する業者が落札した案件が 62%、三重県内では 95%となった。物品及び役務の調達における入札案件は 30 件あり、落札者の内訳は、四日市市・三重郡に本支店を有する業者が 18 件、それ以外の三重県内の業者が 4 件、三重県外の業者が 7 件。割合にすると、四日市市・三重郡に本支店を有する業者が 60%、三重県内では 77%となった。また、入札の方法によることなく、随意契約が可能である、50 万円以下の備品・消耗品購入は、令和 5 年度において 558 件あり、うち、四日市市・三重郡に本支店を有する業者に 392 件、それ以外の三重県内の業者に 74 件、三重県外の業者に 92 件発注した。割合にすると、70%の案件を四日市市・三重郡に本支店を有する業者に発注。三重県内では 84%となった。

●地元の事業者が適正な価格で参加を希望してきたときに、門前払いになるようなことがないように方策を考えていただきたい。また、包括等で委託したときの地元の参加割合という点にも注目してほしい。